

9名の原告の要請文(要約)

◆2022年6月17日に最高裁で国の責任を否定する判決が出されて以来、全国の地方裁判所や高等裁判所でも、まるでコピーしたかのような、国の責任を否定する判決が相次いでいます。これは、最高裁が司法の責任を事実上放棄し、下級審の判断を誤った方向に導いていることにほかなりません。最高裁は司法の最後の砦です。どうか、棄却せずに、憲法と良心に基づき、公正で誠実な判断を下してください。

◆国の責任を認めない判決が、行政による医療費減免の打ち切り・縮小、区域外避難者のみなし仮設住宅からの強制的追い出しなど避難者の命の切り捨てを正当化する口実として機能しています。官邸敷地に汚染土が運び込まれたことなど一連の動きを私たちは「司法の無責任が招いた国民の健康と生活への新たなリスク」とみなします。最高裁は、「人権の最後の砦」としての責務を果たし、この構造的暴力を終わらせるべきです。

◆大阪高裁で判決が出た時、今まで私の受けた尋問、私の家族の陳述は一切聞かれていないし、理解されていないのだと知りました。私の人生で一番の落胆した出来事でした。傷を受けた人々、特に若者たちの受けた傷、未来への不安はどれほど深刻かを自分自身や家族に置き換えて考える必要があります。国には責任が無いというのなら私たち一般の人間にもわかるように説明してほしい。

◆私は2018年の大阪北部地震をきっかけに原発事故のPTSDが酷くなり、今も毎日襲ってくる希死念慮に押し潰されそうになりながら生活しています。私は人生で最も輝けるはずだった10代、20代を国と東電に奪われました。せめて国には、自分たちがどれだけ大きな罪を犯したのか、その責任を認めて心から謝罪してほしい。そしてもう同じ過ちを繰り返さないでほしい。そのことをもう一度最高裁で訴える権利が私たちにはあります。

◆国が原発事故避難を避難者の自己責任とする方針を続けているため、私は国際社会に出ました。国連人権理事会では、国の避難者への対応は人権侵害であると認識され、国連特別手続きや人権条約機関などから区域内外を区別せず避難者を救済するよう何度も勧告が出ています。2022年に最高裁で、国際人権法や「国内避難民の人権に関する指導原則」を無視した判決が出たことが国際社会に伝わっており、最高裁が今後どう対応するかを国連人権理事会は注目しています。

◆大阪高裁判決は、国が国民を保護する義務を放棄してもよいと認め、被災者の人権は尊重されないことを突きつけた権力の暴力そのものです。それは司

法の敗北を自ら宣言するものです。3歳で被災した私の人生は、現在18歳になるまで避難生活の延長線上に存在しています。国が国民の人権を守らず、災害大国において許されざる蛮行を放置してきたことを知り絶望しました。司法の独立と誇りを守ってください。私たちに人権があり、国にそれを保護する責任がある限り、私たちは負けません。

◆控訴審で、私には「避難の社会的相当性がない」という判決が下されました。2011年末の「原発事故収束宣言」以降の避難には、「社会的相当性がない」のだそうです。私が、京都に避難すると決め京都府に住宅支援の申請をしたのが12月上旬でした。その後、転校の手続きなどを経て、実際に引っ越したのが2012年1月下旬でした。京都府が災害救助法に基づき避難者を受け入れていた期間中の避難であり、京都地裁は認めたのに、大阪高裁はなぜ認めなかったのか。最高裁はこの誤りを糺してください。

◆私は2011年3月に母子避難しましたが、大阪の安売りスーパーで食材を買って食べて、数え切れない程の「被ばく症状」が出ました。原発事故前は100万人あたり1人か2人といわれた子どもの甲状腺がん患者が、福島の中通りでは25.5人 避難区域13市町村では49.2人も出ています。健康診断だけでなく、免疫力を高めるための施策を政府に要求していきたいです。病気になってから医療費等を要求するよりも少ない費用で出来ます。その為には「国の責任を認められる事が必要不可欠」です。

◆事故直後、父の職場では看護師さん達が「子どもが毎日鼻血をダラダラ出すんだよ」と言っていました。私は被ばくしたくないので、これからも避難を継続します。家族がアレルギーを持っていたので、福島の家は化学物質を使わずに木材で作った100年住宅でした。広い庭には花が咲き乱れ、有機野菜はおいしく、私たちはしあわせに暮らしていました。こうした有形無形の財産を失い、中古住宅を買った結果、父は75才まで住宅ローンを返済し続けることになりました。国の責任を認めてもらい、国に謝罪して欲しいです。

関連訴訟の取り組みにもご参加ください!

◆ひょうご訴訟控訴審第1回期日

10月23日(木)14:30開廷(大阪高裁本館大法廷)

◆関西訴訟結審前・九州訴訟判決前合同集会

11月3日(月祝)13:45~17:00(エルおおさか本館606会議室)

*ZOOMで九州会場とつないで行われます。